



名古屋市立大学大学院  
経済学研究科教授

## 中山 徳良氏

# オープン カレッジ

近年、少子化により私立大学の経営は厳しさを増している。日本私立学校振興・共済事業団によれば、定員割れとなった私立大学は平成24年度で45・8%となっている。

私立大学の主な収入として……  
なかやま のりよし 産業組織論、公益事業論、医療経済学。東京都立大学大学院社会科学研究所博士課程退学、博士（経済学）。1966年生まれ。

は、学生からの納付金、補助金、寄付金、病院等からの事業収入があり、特に学生からの納付金は収入のうちで大きな割合を占めている。そのため、学生からの納付金が何より影響されるのは大学経営にとって大きな関心事となる。

アメリカの大学を対象とした研究では、「威信」が高いほど学費が高くなる傾向があることが示されている。「威信」の高い大学とは、質の高

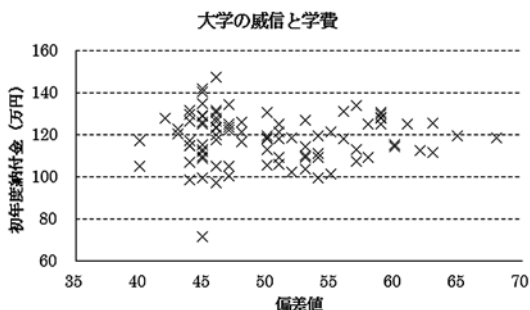
## 私立大学の「威信」と学費の関係

ではなく入学金や施設費を含んだ初年度納付金のこと

た研究では、「威信」が高いほど学費が高くなる傾向があることが示されている。「威信」の高い大学とは、質の高

い教員や優秀な学生を集めることができる大学のことであるが、学費と「威信」との関係を示すれば、「威信」の

## 国公立大学との競争が影響



高い大学ほど学費が高くなっているわけではないことがわかる。「威信」は入試の難度で示され、図では偏差値を代わりに用いている。

わが国ではなぜ「威信」がた、優秀な学生を確保しようとするか、先行研究により示されている仮説は、国公立大学の競争のためというものである。

そもそも今日の「威信」の高い私立大学と国公立大学との間の競争が出来上がったのは、高等教育への需要増加を

「威信」が高い私立大学は国公立大学と競争関係にある

